

第十三週

七夕祭り

凡て年少組と同じ調子であるけれど、子供達の爲す仕事は、何なしにガッカリ出来る。年少組の所にくだく書き連ねてあれば、こゝでは何も言ふ事もない。

第十四週

唱歌遊戲

第十三週

唱歌一回

波よ來い來い(小學唱歌七十一曲集)

もうすぐ楽しい夏休み。海が、波が、みんなを待つてる。去年の夏の思い出もなつかしく、はるか心は海へ。

支、卷、农、已、傳、密

を静かにうたはう

空欄になつて居るけれども、何もしないのではない。おそらく例外なしに終りの集り、お話を唱歌の會式のものが催される、もうぢき、長いお休みが来ると言ふのであるから、共に楽しみ別れを惜しむと言ふ心持を表はさすには居られないものである。この會に就いても凡て年少組の時と同じ調子。併し内容は年長組である故に自ら異なる事勿論である。

波さあそぶうれしいく氣持を表はして、無邪氣に軽や